

事業所名 グループホーム悠遊荘

運営推進会議開催報告書

開催日時 平成 30 年 6 月 19 日 (火) 2時00分～3時00分	
参加者	議題
利用者 2名	<ul style="list-style-type: none"> • <u>活動報告</u> • <u>事故報告</u> • <u>身体拘束等の適正化</u> • <u>利用者、職員状況</u> • <u>目的達成経過報告</u> • <u>質疑応答</u>
利用者家族 名	
地域住民の代表者 3名	
市職員 1名	
民生委員 1名	
地域包括支援センター職員 1名	
事業所 4名	
会議録	
<p>1. 5月、6月の活動報告</p> <p>5月</p> <p>2日 (火) 往診</p> <p>13日 (日) 母の日を祝う会 (利用者の方全員にお母様の思い出話をさせていただく)</p> <p>15日 (火) (ガスト) ヘデザートを食べに行きました。(M様F様)</p> <p>19日 (土) 喫茶「楽」へコーヒー (S様、K様)</p> <p>20日 (日) 定光寺ドライブ</p> <p>23日 (水) M様の誕生日会 (職員と一緒にチヂミを焼き、水饅頭と、フルーツポンチでお祝いしました)</p> <p>6月</p> <p>1日 (金) しののクリニック健康診断 (S様)</p> <p>5日 (火) 往診</p> <p>7日 (木) 図書館、墓参り (M様、Y様)</p> <p>12日 (火) 理容 (午前中) 昼よりドライブ 菱野団地の方に行きました。 (S様、K様 M様) 住んでいた家の近く</p> <p>15日 (金) 総合消防訓練 (通報 避難訓練、消火訓練 (水消火器使用) 昼食準備中台所から出火を想定)</p> <p>17日 (日) 父の日 (利用者様のお父様の思い出話をさせていただく)</p> <p>18日 (月) ボランティア作田様 (バラの花を利用者の方と一緒に作り</p>	

ました。)

2. 事故報告・

1 件 6月5日(火)10時50分 K様 入浴時、お尻を洗浄しようとしたが、立ち上がれず一人で介助したところお尻に傷ができてしまった。

2 件 6月17日(日)10時25分 A様 車いすに乗りビングでテレビを見ていたが急に立ち上がりソファに座ろうとしてバランスを崩し右横から滑り落ち転倒。

3. 身体拘束等の適正化

車いす利用時、前かがみになり転落の危険のある方に、夜間帯の人手のない時間に限り、車いすベルトを装着している。ご家族には毎月、状況を説明し1ヶ月後に再検討

4. 現在の職員の状況と利用者の介護度

職員=13名 利用者=8名。(男性5名,女性3名)

平均年齢 86.75歳

介護度 1(1名) 2(2名) 3(3名)

4(1名)(入院中) 5(1名)

5. 目的達成経過報告計画、

取り組み⇒

喜ばれるサービスとして散歩や買い物、お墓参りも行きました
S様が以前いらっしゃった施設のコーヒー店に行き元職員の方に会い懐かしく喜んでくれました。

1日のうちで足踏みを数えながら20回やり下肢筋力の低下を防ぐ。

6. 質疑応答、意見交換

・身体拘束については適正に実施されていないと減算対象になる。

安易な拘束はせず、施設の指針を整備し職員間での話し合いを充分におこない、家族の了承を得、委員会を開催する必要がある。

動くことがなくなり危険でなくなった場合、いつ中止するかの見切りも重要。

・Q:入居者の介護度にばらつきがあるが、職員の数は増えたか?

A:日勤の体制は変わらず2人で対応。食事作り中心の短時間パートや管理者、ケアマネジャーが適宜見守りをおこなっている。

・土砂災害に関する避難確保計画を早急に作成し、

土砂災害を想定して避難訓練を実施する。